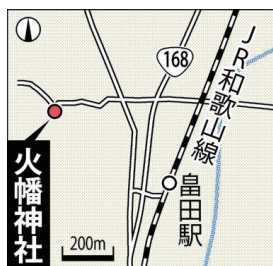




火幡神社の拝殿―王寺町畠田5で



火幡神社 (王寺町)



火幡神社は、明神山(送迎山)の参道である送

送迎太神宮の拝殿移築

迎道の近くに鎮まりま
す。

送迎道は王寺町畠田と
大阪府柏原市を結ぶ道で
もありました。

社伝によりますと、平
安時代前期の806(大
同元)年の創建で、祭神
は火之戸幡姫命とされ、
すぐれた織物や機織を意

(住所) 王寺町畠田5の12の1
(祭神) 天児屋根命、
息長帯比売命、菅田別命、
玉依姫命、天照大神

(交通) JR畠田駅から徒歩約20分
(拝観) 境内自由
(駐車場) あり
(電話) 090・9889・7028

味する火幡(秀機)の言
葉から養蚕や機織を担う
集団により祭られたのが
始まりとされます。

拝殿は1971(昭和
46)年に再建されました。
それ以前は明神山の山頂
にあった送迎太神宮の拝
殿を移築したものと伝わ
っています。拝殿の後ろ
に神明造(伊勢神宮本
迎太神宮を建立し、伊勢

江戸時代には一斉に伊
勢神宮にお参りする現象
があり、「おかげ参り」
と呼ばれました。183
0(文政13)年は大規模
なもので、これを基に送
迎太神宮を建立し、伊勢

神宮の天照大神が祭られ
ました。しかし、翌18
31(天保2)年に本殿
は伊勢神宮の偽物とし
て、畠田村の領主であっ
た郡山藩主によって取り
壊されました。

鳥居前にある一対の石
燈籠は大阪の人々が奉納
したもので、送迎太神宮
が撤去された後にこの場
所に移されたと考えられ
ています。

(奈良まほろばソムリエ
の会会員 坂口隆信)